

総合戦略事業シート							No.		
評価対象事業分類	(2) 新規・拡充事業								
施策体系	横断・基本目標	VI. 人と人がつながり、支え合うまち							
	基本施策	4. 移住・定住の促進							
	具体施策	①U・Iターンの支援							
総合戦略 ※総合戦略上の体系を記載してください	戦略体系	基本戦略3 益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる							
	主要施策	(1) U・Iターンの推進							
進捗管理	目標指標								
		R1 実績	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R3/R7 達成率
	目標								
	実績								
具体事業	事業名称	ひきみ田舎体験推進事業費			担当部署	政策企画局連携のまちづくり推進課			
事業概要	<p>益田市は「ひきみ田舎体験推進協議会」と連携して、匹見の魅力を市内外にPRし、様々な田舎体験事業を実施することで、交流人口の拡大や関係人口の掘り起こし、更には、将来的なU・Iターンへのきっかけづくりに繋げる。</p> <p>また、ボランティア事業制度を活用し、地域が抱える高齢化や人口減少による人手不足等の課題の解決を図る。</p>								
事業検証	<p>【現 状】</p> <p>①ひきみ田舎体験推進協議会の活動（田舎体験事業・ボランティア事業）を支援するため、当該協議会へ補助金を交付（410千円） ※協議会加入団体数…18団体（R4.4.1現在）</p> <p>・田舎体験事業 …わさび掘り採り体験、レンコン収穫体験、郷土料理交流、民泊体験 そば打ち体験、各種ツアー受入、インバウンド受入 など</p> <p>・ボランティア事業…稲苗箱運搬、草刈、春まつり支援、大学生の集落体験及び交流 など</p> <p>②定住情報誌「おかえり」を年2回発行し匹見の魅力を発信</p> <p>【課 題】</p> <p>・各加入団体メンバーの高齢化が進んでいる</p> <p>・ひきみ田舎体験推進協議会活動を実施するためには、これまでの活動を担ってきた「まちづくりコーディネーター（石橋氏）」との業務委託契約の継続が必須</p> <p>【対 応】</p> <p>・匹見3地区の地域自治組織や公民館活動との連携も視野に、各加入団体、メンバーが無理なく活動ができるよう協議、検討したい。</p> <p>・まちづくりコーディネーターの業務委託を継続したい。</p>								
積算根拠	<p>○旅費 6千円</p> <p>○需用費 104千円</p> <p>○負担金補助及び交付金 200千円</p>								
事業費 (単位:千円)		昨年度	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
	総事業費	510	310						
	国庫支出金	255							
	県支出金								
	地方債								
その他	255	310							
一般財源									
財源説明	地方創生交付金、匹見地域活性化事業基金								

総合戦略事業シート							No.		
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業		(2) 新規・拡充事業						
施策体系	横断・基本目標	VI. 人と人がつながり、支え合うまち							
	基本施策	4. 移住・定住の促進							
	具体施策	①U・Iターンの支援							
総合戦略 ※総合戦略上の体系を記載してください	戦略体系	基本戦略3 益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる							
	主要施策	(1) U・Iターンの推進							
進捗管理	目標指標	県外からのU・Iターン者数							
		R1 実績	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R3/R7 達成率
	目標			170人/年	185人/年	200人/年	215人/年	230人/年	97%
	実績	162人/年	162人/年	165人/年					
具体事業	事業名称	ますだ暮らし推進事業			担当部署	政策企画局連携のまちづくり推進課			
事業概要	<p>・本庁及び支所に定住相談員、コーディネーターを配置し、UIターン者の受入れから定住後のフォローまで、一貫したサポートを行う。</p> <p>・情報提供や地域内の案内、相談等の支援を行うますだ暮らしサポーター登録の推進を図る。</p> <p>・都市部での移住・定住イベント等の企画及び参加することで、田舎暮らし希望者に向けて「益田市」をさらに知ってもらい、定住希望先として益田市を選んでもらえるようPRを行うと同時に、地域が希望する定住者をマッチングするためのサポートを行う。</p> <p>・UIターン者同士の交流を図ることで、UIターン者の新しい仲間づくりの一助とし、ますだ暮らしをより充実したものにしてもらうため、UIターン者交流会を実施する。</p> <p>・田舎体験イベント等の実施により関係人口の拡大を図る。また、地域資源を発掘・活用し、様々な事業をコーディネートすることで、地域の総合的な活力の維持、受入体制の整備向上を図り、地域活性化に繋げていく。</p>								
事業検証	<p>【現状】 定住相談員、コーディネーターを配置することにより、様々なニーズに対し、きめ細やかな対応を行っている。</p> <p>【課題】 移住希望者のニーズが多様化しているため、益田暮らしの豊かさ等を情報発信し、UIターン者の増加を図る必要がある。</p> <p>【対応】 これまで通りのきめ細やかな対応に加え、益田暮らしの豊かさに関する情報発信の強化及び田舎体験などによる関係人口を創出し、UIターン者の増加を図る。</p>								
積算根拠	<p>○報酬 1,807千円 (会計年度任用職員1人)</p> <p>○職員手当等 334千円</p> <p>○共済費 359千円</p> <p>○報償費 20千円 (講演会等謝金)</p> <p>○旅費 1,332千円 (移住・定住イベント等)</p> <p style="padding-left: 20px;">[内訳] 普通旅費: 1,227千円 費用弁償 105千円</p> <p>○需用費 578千円 (消耗品等事務費)</p> <p>○役務費 319千円 (通信運搬費、傷害保険料)</p> <p>○委託料 4,022千円 (コーディネーター業務委託)</p> <p style="padding-left: 20px;">754千円 (定住情報発信サイトメンテナンス料、システム利用料)</p> <p>○使用料及び賃借料 12千円 (定住情報発信サイトサーバー・ドメイン使用料)</p> <p>○備品購入費 70千円 (カメラ購入費用)</p>								
事業費 (単位:千円)		昨年度	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
	総事業費	11,068	9,607	9,009	9,009	9,009	9,009		
	国庫支出金	3,768							
	県支支出金								
	地方債		8,700	8,100	8,100	8,100	8,100		
その他	3,000								
一般財源	4,299	907	909	909	909	909			
財源説明	地方創生推進交付金 (R3)、過疎債ソフト (R4~6)								

総合戦略事業シート							No.		
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業		(2) 新規・拡充事業						
施策体系	横断・基本目標	VI. 人と人がつながり、支え合うまち							
	基本施策	4. 移住・定住の促進							
	具体施策	①U・Iターンの支援							
総合戦略 ※総合戦略上の体系を記載してください	戦略体系	基本戦略3 益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる							
	主要施策	(1) U・Iターンの推進							
進捗管理	目標指標	ますだ暮らしサポーターの登録地区数							
		R1 実績	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R3/R7 達成率
	目標			20地区	20地区	20地区	20地区	20地区	90%
	実績	11地区	18地区	18地区					
具体事業	事業名称	ますだ暮らし推進事業				担当部署	政策企画局連携のまちづくり推進課		
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁及び支所に定住相談員、コーディネーターを配置し、UIターン者の受入れから定住後のフォローまで、一貫したサポートを行う。 ・情報提供や地域内の案内、相談等の支援を行うますだ暮らしサポーター登録の推進を図る。 ・都市部での移住・定住イベント等の企画及び参加することで、田舎暮らし希望者に向けて「益田市」をさらに知ってもらい、定住希望先として益田市を選んでもらえるようPRを行うと同時に、地域が希望する定住者をマッチングするためのサポートを行う。 ・UIターン者同士の交流を図ることで、UIターン者の新しい仲間づくりの一助とし、ますだ暮らしをより充実したものにしてもらうため、UIターン者交流会を実施する。 ・田舎体験イベント等の実施により関係人口の拡大を図る。また、地域資源を発掘・活用し、様々な事業をコーディネートすることで、地域の総合的な活力の維持、受入体制の整備向上を図り、地域活性化に繋げていく。 							
事業検証	【現状】	定住相談員、コーディネーターを配置することにより、様々なニーズに対し、きめ細やかな対応を行っている。							
	【課題】	移住希望者のニーズが多様化しているため、益田暮らしの豊かさ等を情報発信し、UIターン者の増加を図る必要がある。							
事業検証	【対応】	これまで通りのきめ細やかな対応に加え、益田暮らしの豊かさに関する情報発信の強化及び田舎体験などによる関係人口を創出し、UIターン者の増加を図る。							
	積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 1,807千円 (会計年度任用職員1人) ○職員手当等 334千円 ○共済費 359千円 ○報償費 20千円 (講演会等謝金) ○旅費 1,332千円 (移住・定住イベント等) [内訳] 普通旅費： 1,227千円 費用弁償 105千円 ○需用費 578千円 (消耗品等事務費) ○役務費 319千円 (通信運搬費、傷害保険料) ○委託料 4,022千円 (コーディネーター業務委託) 754千円 (定住情報発信サイトメンテナンス料、システム利用料) ○使用料及び賃借料 12千円 (定住情報発信サイトサーバー・ドメイン使用料) ○備品購入費 70千円 (カメラ購入費用) 							
事業費 (単位:千円)		昨年度	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
	総事業費	11,068	9,607	9,009	9,009	9,009	9,009		
	国庫支出金	3,768							
	県支支出金								
	地方債		8,700	8,100	8,100	8,100	8,100		
その他	3,000								
一般財源	4,299	907	909	909	909	909			
財源説明	地方創生推進交付金 (R3)、過疎債ソフト (R4~6)								

総合戦略事業シート							No.		
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業		(2) 新規・拡充事業						
施策体系	横断・基本目標	VI人と人がつながり、支え合うまち							
	基本施策	3. 持続可能な地域づくりの推進							
	具体施策	③地域人材の育成支援							
総合戦略 ※総合戦略上の体系を記載してください	戦略体系	基本戦略4 地域にあるものを活かし、安心して暮らせるまちをつくる							
	主要施策	(1) 持続可能な地域づくりと地域を担う人材育成							
進捗管理	目標指標	スキルアップ講座の参加者数							
		R1 実績	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R3/R7 達成率
	目標			60	80	100	120	130	130%
	実績	42	46	78					
具体事業	事業名称	地域づくり支援体制整備事業			担当部署	政策企画局連携のまちづくり推進課			
事業概要	専門的なスキルと知見を持った人材を有する団体へ業務委託を行うことで、持続可能な地域づくりとひとづくりを実現する。								
事業検証	【現状】地域自治組織の持続的で専門的な活動支援、地域の担い手づくり支援に対する必要性が高まっている。 【課題】地域自治組織への伴走支援。 【対応】課題に応じた専門知識を持つ団体と調整。								
積算根拠	委託料：14,300千円 積算内容 地域づくり支援体制整備事業委託料 (地域づくり支援事業、関係人口拡大支援、定住促進、各種研修会) 中間支援組織への事業委託 ①地域づくり支援事業(まちづくりラウンドテーブル、地域づくり人養成講座、地域での各種研修) ②関係人口拡大支援(大学生による地域活動支援) ③定住促進(Uターン者の交流、情報発信(ホームページ更新))								
事業費 (単位:千円)		昨年度	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
	総事業費	14,300	14,300	14,300	14,300	14,300	14,300		
	国庫支出金	7,150							
	県支出金								
	地方債								
その他									
一般財源	7,150	14,300	14,300	14,300	14,300	14,300			
財源説明									